

令和2年度(2020年度)第1回タンチョウ越冬分布調査について

1 調査の趣旨

絶滅のおそれが懸念されるタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に毎年実施しているものです。

地元小・中学校や関係機関等の協力のもと、調査の基礎的な手法やタンチョウ保護の歴史について学ぶことができるよう調査を進め、見られた場所や大まかな個体数を記録します。

2 調査主体

北海道（環境省委託）

3 調査協力機関等

関係市町村、関係市町村教育委員会、釧路市動物園等関係機関、関係小・中学校、日本航空株式会社、タンチョウ給餌人など

4 調査対象地域

十勝、釧路、根室管内を中心としたタンチョウ生息地及び飛来地全域

※ 現在のところ、空知、石狩、胆振、日高、宗谷、オホーツク、十勝、釧路、根室の9（総合）振興局管内39市町村管内の計298箇所について調査を実施予定

5 調査期日

令和2年(2020年)12月4日（金）

※ 悪天候などにより中止の場合は、12月11日（金）に延期

6 調査時間

(1) 事前予備調査（参考） 午前8時50分から午前9時00分まで（10分間）

(2) 本 調 査 午前9時00分

(3) 事後予備調査（参考） 午前9時00分から午前9時10分まで（10分間）

7 調査方法

地上からの目視により調査を行います。

8 調査内容

次の事項について調査、記録を行います。

(1) 着地しているタンチョウ

ア 羽数（幼鳥、成鳥、不明の別）

イ 場所（地点）

(2) 飛翔中のタンチョウ

ア 羽数（幼鳥、成鳥、不明の別）

イ 場所（地点）

ウ 飛来又は飛去の方向

(3) 確認時刻

9 調査結果の集計、公表

調査結果は各（総合）振興局で集計し、本庁で全道分を取りまとめた後、12月下旬から1月上旬に公表します。